

# ねっとわーく

11月号

No. 160

## 特色ある公民館活動



日本語教室〈福岡市〉



文化ボランティア養成講座〈岡垣町〉



みくに野団地公民館カフェ〈小郡市〉



きづきの杜〈築上町〉

### 市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- ・ 共生社会へ向けて住民自ら学びの場作り「日本語教室」
- ・ 文化ボランティア養成講座わかしお
- ・ 全ての世代がくつろげる憩いの場所「みくに野団地公民館カフェ」
- ・ 学びを通して「気づき」につなげる

- 福岡市別府公民館 ……P1
- 岡垣町中央公民館 ……P2
- みくに野団地公民館 ……P3
- 築上町中央公民館 ……P4

### こちら県公連

- ・ 第69回福岡県公民館大会報告 ……P5



# 共生社会へ向けて住民自ら学びの場作り「日本語教室」

福岡市別府公民館

## 【地域の概要及び経緯】

別府公民館は福岡市西南部に位置し、校区中央には中村学園大学を有する、約 17,000 人が暮らす文教地区にあります。別府校区は、福岡市の交通の大動脈である国道 202 号線が東西に、城南区のシンボルロード「城南学園通り」が南北に走り、校区内には地下鉄七隈線の別府駅、茶山駅の 2 駅があり、都心である天神や博多駅への交通アクセスも良く、人口は増加傾向にあります。



現在、別府校区には約 250 人の外国人が居住していますが、外国人との共生社会の実現に向けたまちづくりを目指す上で、円滑なコミュニケーション、日常生活や社会参加のために必要な日本語教室の開催を思い立ちました。

## 【活動内容】

令和6年2月に、福岡市総務企画局国際部から月2回全 10 回にわたり、自主運営を目標とした日本語教師の派遣が始まりました。この期間にサポーターの養成を含めて地域の学習者への周知を図っていききました。初回はサポーターが 20 名集まったものの学習者は 0 名。どうなることかと頭を抱えましたが、徐々に増えて現在では 6、7 名が学習にきています。7 月からサポーターだけによる教室開催が始まり、学習者のニーズを考え夜間の部を増やし、月 4 回午前と午後の部の開催としました。

講座のコンセプトは、

- ①文化交流ができる場
- ②日常生活で困ったことや悩みを話せる場
- ③リアルな日本語が話せる場
- ④顔見知りとなって地域の一員となれる場
- ⑤サポーターも多文化を学べる場 と決めました。



サポーターは他校区での経験者を含め 5、6 名が中核となって都度全員で打ち合わせを行い、プランを立てます。一人一人の学習者に寄り添った和気あいあいとした教室となっています。

7 月は「防災から暮らしを守る」、8 月には「日本の夏、私の国の夏の過ごし方」をテーマに開催しました。毎回設けているティータイムでは珍しいお菓子の持ち寄りや、「素麺を食べよう」と具を持ち寄り大いに盛り上がりました。最初からこの教室に参加していた学習者が引っ越し際に「これまで海外や日本の各地に住んできたが、この教室に参加できたことが一番の思い出となっています。ここはいつでも温かく迎え入れてくれて、いろんな方と会話のできたのでとても楽しみにしていた場所でした。」と残念がっておられたのが印象的でした。

サポーター同士が互いを尊重し合い、遠慮することなく意見を交わせる環境づくりができていることが学習者にも伝わり居心地の良さを醸し出しているのだと思います。

## 【成果と課題】

サポーターには公民館での活動未経験者の方も多く、この教室を機に地域に関心が向くことが大いに期待されます。サポーター、学習者そして地域住民にとっても日本語教室の存在が多文化共生のきっかけづくりや拠り所として発展していくことが求められています。

【問合せ先】 別府公民館

〒814-0104 福岡市城南区別府 1 丁目 15 番 19 号

TEL 092-821-7489 FAX 092-821-2308

## 文化ボランティア養成講座わかしお

岡垣町中央公民館

### 【町の概要及び経緯】

岡垣町は福岡市と北九州市の中間に位置し、海や山など自然環境に恵まれた人口約3万1千5百人の町です。岡垣町教育委員会では18歳以上の町民を対象に「文化ボランティア養成講座わかしお」という講座を開設しています。この講座は、「自分磨き」と、「社会貢献」を主なねらいとしており、これまで、住民の皆様学習の機会や、受講生相互の友達づくりをはじめ、生きがいや教養の向上、健康の増進や生活文化の振興を目的として実施してきた「若潮学級」と「成人講座ゆうま」を、令和3年度にリニューアルしたものです。

### 【活動内容】

「わかしお」は、毎年5月頃から11月頃の水曜日に実施しており、全6コースをAグループとBグループに分け、各グループを隔週で実施しています。受講生は1グループにつき1コースまで参加できます。令和6年度のコースは、Aグループが「クラフト手芸」、「歌唱」、「楽しく座ってタップダンス」、Bグループが「筆文字あーと」、「心と体をととのえるヨガ」、「草木染型染」となっており、各コースの専門的な学習ができるだけでなく、3回の教養講座が行われ、自分磨きの場が設けられています。また、受講生の募集を行う際に、「ボランティアに参加」することを推進しています。講座は自主運営となっており、連絡係等の係を互選し、会場準備から司会進行、後片付けなども講師の先生と協力して受講生が行っています。

受講生は、自分磨きの発表の場として町民文化祭に出演します。岡垣サンリーアイのステージで、歌唱やダンスを披露したり、岡垣サンリーアイウェブアーリーナでの作品展に手芸等を出展したりします。このように文化祭での発表は受講生の目標のひとつとなり、学びがいとなっています。また、文化祭の実行委員としても役を持ち、会の運営を担うことでボランティア体験をしています。



【写真1：教養講座の様子】



【写真2：文化祭の様子】

### 【成果と課題】

平均出席率はどのコースでも80%を超えており、アンケートからも講座の内容については満足頂いている様子であり、皆さんが熱心に受講されていることも伝わってきます。課題は、受講生の固定化及び高齢化により、ボランティアの参加が限られてきたことです。今後は、町内施設での活動に自主的に取り組めるよう、他の機関と連携を図りつつ、誰もが楽しく講座に参加し、自己実現と社会貢献ができるようにしていきたいと考えています。

【問合せ先】 岡垣町中央公民館

〒811-4242 福岡県遠賀郡岡垣町吉木西1丁目1番1号

TEL 093-282-0162 FAX 093-282-3330

## 全ての世代がくつろげる憩いの場所「みくに野団地公民館カフェ」

みくに野団地公民館

### 【地域の概要及び経緯】

小都市の北西部にある「みくに野団地地区」は、昭和40年代に作られた797世帯からなる団地で、65歳以上の人口の割合は37.7%（市全体28.6%）と、高齢化に直面している地域です。一方で、団地外から新しく流入する若者世代も増えており、毎年開催する夏祭りは、団地内の多くの子どもたちで盛り上がります。

### 【活動内容】

みくに野団地公民館では、お茶やお菓子を味わいながらほっと癒される空間「みくに野団地公民館カフェ」を、3か月に1回ほど開催しています。活動を始めたのは、みくに野団地地区が所属する「三國小学校区協働のまちづくり協議会」運営の「三国カフェ」がきっかけです。「校区単位ではなく自治会単位でおしゃべりができる場がほしい」という地域の皆さんの声や、「コミュニティセンターまで遠くて行けない方々と交流を持ちたい」という思いから、地域ボランティアの協力のもと、令和5年11月に始まりました。

第1回のカフェでは、高齢者を中心とした見守り世帯を対象に、クリスマスコンサートを行いました。初回の開催にも関わらず、子どもから高齢者まで多くの方の参加がありました。そこで第2回では、公民館長自らが演奏するギターに合わせて、世代を超えて歌いつがれる曲の数々を参加者一同で歌いました。さらに第3回では、みくに野団地区の歴史や生活についての〇×クイズを行い、景品獲得を目指して盛り上がりました。元々は高齢者の見守りを目的に始めた公民館活動でしたが、今では地域の中でも貴重な多世代交流の場となっています。



【写真1：第1回カフェ クリスマスコンサート】



【写真2：第3回カフェ 〇×ゲーム】

### 【成果と課題】

カフェの参加者からは「初めて会う人とのおしゃべりが新鮮」、「歌を歌って心が和んだ」などの声が聞かれ、公民館を中心とした地域コミュニティの広がりがありました。しかし、公民館へ向かう道のりは、団地内の急な坂道を上る必要があり、交通弱者への移動手段の確保が最大の課題です。

少子高齢化や地域コミュニティの希薄化が問題となる昨今、「みくに野団地公民館カフェ」を通じた「顔の見えるお付き合い」は、団地防災にもつながると考えています。また、これからも住み続けたいと思ってもらえる団地として活性化していくため、「やれることから少しずつ」を合言葉に活動していきます。

### 【問合せ先】みくに野団地公民館

〒838-0102 小都市津古846-3

TEL：0942-75-2805（みくに野団地公民館）

0942-72-2111（小都市役所 コミュニティ推進課 コミュニティ推進係）

## 学びを通して「気づき」につなげる

築上町中央公民館

### 【地域の概要及び経緯】

築上町は、福岡県の東部に位置する自然豊かなまちです。平成 18 年 1 月 10 日に当時の椎田町と築城町が合併をし、誕生しました。合併当時 2 万 1700 人いた人口も、本年 8 月末現在で 1 万 6500 人と、5 千人を超える人口減となっています。少子高齢化が著しく進み、それを見据えた行政施策の展開が求められています。

### 【活動内容】

本中央公民館では、「きづきの杜」と称する生涯学習のための講座を実施しています。学びを通して、日常生活をはじめ様々な場面でいろいろな「気づき」を体得してほしい、そうした願いから、令和 3 年度より今の名称に変更しました。この講座は 1 年を通じて実施するもので、5 月から翌年 2 月にかけて基本的に月 1 回のペースで行います。

本年度は、俳句講座をはじめ 10 講座の開設をしています。受講生は延べ 83 人です。コロナ禍前の令和元年度と比べ、65%の減となっています。コロナ禍の影響が大きな要因であることは言うまでもありませんが、今後、受講生が以前のように増えていくのか注意深く見守る必要があります。受講資格に年齢要件はありませんが、受講生のほとんどが高齢者です。リピーターが多いのもこの事業の特徴です。また、複数の講座を受講する生徒もいて、学習意欲の高さを感じられます。

なお、「きづきの杜」では、年に一度全ての受講生を対象とした必須の合同講座を行っていますが、今年度は、『カイクとシルク』に関する講座を実施しました。繭が糸になる実演も交えた講座だったので、受講生の皆さんは講師の話に食い入るように耳を傾けていました。



### 【成果と課題】

きづきの杜に参加している人は、若々しく快活に見え、社会参加の意義や必要性を強く感じます。人生 100 年時代を迎えようとしている中、高齢者が日々の生活をどう過ごすかということが今後大きく問われてくると思っています。

現状としては、男性の参加が比較的少なく、男性高齢者の参加促進にどう取り組んでいくかが直面する大きな課題と言えます。また、子育て世代による公民館利用も極めて限定的です。親子で触れ合える講座や世代間を越えた交流などの取組を展開し、利用の拡大を図っていきたいと考えています。

【問合せ先】 築上町中央公民館

〒 829-0331 築上郡築上町大字高塚 756 番地

T E L 0930-56-0251 F A X 0930-56-0376

## 第69回福岡県公民館大会報告

【県大会テーマ】 「地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館を目指して！」  
～人づくり・つながりづくり・地域づくり～

### 1 概要

令和6年8月7日(水)、久留米シティプラザグランドホールにおいて、第69回福岡県公民館大会を開催しました。大会には県内各地から公民館に関わる610名の方々に御参加いただきました。

本大会では、事例発表やトークセッション、講演をととして、参加された皆様と共に大会テーマである「地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館」について考え、今後の取組に生かしていただくことを目指しました。

### 2 開会・記念式典

本大会では、県立久留米筑水高等学校のボランティア部の生徒さん13名に受付補助や司会進行をお願いしました。大変聞き取りやすいアナウンスで大会をスムーズに進行していただきました。参加者からも、高校生が運営に携わることについて「高校生から元気をもらった」「素晴らしい司会で感動した」などの声が聴かれました。

大会式典では、御来賓の久留米市長、井上謙介様から祝辞をいただきました。表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった22名の方々に、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けられた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。



【表彰式の様子】

### 3 事例発表

「ウェルビーイングを高めるために！～KIITOでの実践から見えること～」

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長  
NPO 法人 プラス・アーツ理事長  
永田 宏和 氏

大会式典後、デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長の永田宏和氏から事例発表をしていただきました。

全国各地で数多くの実践をしている KIITO やプラス・アーツでの取組の中から、特に地域活性化や住民のウェルビーイングにつながる事例について、写真や動画を使いながら分かりやすく説明をしていただきました。参加者からは、「『パンじい』や『イザカエル』の実践、真似してみます。」「全部できそうだった。自分の地域にもどって出来ることから始めてみます!」「素晴らしい!是非やってみたい。」など自身の活動に活かそうとする感想が多く聞かれました。参加者された皆さんにとって実践に向けた勇気をもらえる貴重な時間になりました。



【事例発表の様子(永田氏)】

#### 4 トークセッション

「ウェルビーイングの実現に向けて！～公民館ができること～」

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)センター長 永田 宏和 氏  
東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤 氏  
福岡県公民館連合会専門部長 北九州市生涯学習課係長 菅 恒弘 氏

トークセッションでは、福岡県公民館連合会専門部長で北九州市生涯学習課係長の菅恒弘氏にコーディネートしていただきながら、「ウェルビーイングの実現に向けて！～公民館ができること～」について、KIITO センター長の永田氏、東京大学大学院教授の牧野氏とともに考えていきました。



【トークセッションの様子】

事例発表で紹介された活動について具体的な実施方法まで掘り下げたり、ウェルビーイングという概念について考えを述べていただいたりすることで、「公民館でウェルビーイングを実現するとは何なのか？」について理解を深める時間になりました。

#### 5 講演

「ウェルビーイングの実現に向けて！～福岡へのエールを込めて～」

東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤 氏

最後に東京大学大学院教育学研究科教授の牧野篤氏に「ウェルビーイングの実現に向けて！～福岡へのエールを込めて～」というテーマで講演していただきました。

社会教育の専門家として、近年の社会教育の情勢から公民館の歴史まで、幅広い見識から御教授いただきました。

参加者からは、「社会教育の在り方やウェルビーイングにつなげる環境づくりについてよくわかった。」「人は良い状態におかれることで力を発揮できるというAARの考え方を知ることができた。」「持続可能な社会の創り手を育てていくことを学んだ。」などの感想が聞かれました。新たな知識を数多く得ることができた貴重な時間になりました。



【講演の様子(牧野 氏)】

#### 6 来年度に向けて

本大会を開催するに当たっては、特に、開催地区である北筑後地区の皆様の御尽力により盛会のうちに終えることができました。心より感謝いたします。

来年度は、南筑後地区での開催を予定しております。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も参考にさせていただき、さらに実り多き大会となるよう改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。